



# 研究所だより

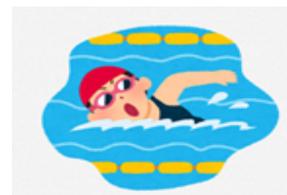


今年の夏もようやく盛りを過ぎ、これから秋の気配を徐々に感じる毎日となりました。皆様方にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、日頃は教育研究所の運営、活動にご支援、ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、この夏は平年より19日も早く梅雨明けし、とても暑い日が続きました。また、行動制限はありませんでしたが、第7波の新型コロナウイルス感染が全国で爆発的に拡大し、県内でも新規感染者数が連日更新され、驚くほど増加した夏となりました。

毎年7月下旬に開催されます町内小学校水泳記録会の応援見学に今年も行きました。子どもたちは日頃の水泳授業や夏季休業中の練習の成果を発揮して、最後まで全力で泳ぐことができていました。教育研究所内で仕事をしていると、あまり子どもたちと接する機会がなく、いつもは児童生徒名簿上での頑張っている様子しかわかりません。実際に頑張っている姿の児童を目の当たりにすると、名簿上だけでなく、嬉しさや口惜しさなどの様々な表情を感じることができました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リモートでの会議、講演会が開催されています。細かい人の表情や感情の変化などを知ったりすることがあまりなくなり、人と人との繋がりに微妙な変化が生じているように感じます。実際に会って、顔の表情や細かい動作をみることで理解し合えることが沢山あります。一日も早くお互いに表情豊かに会話し、以前のような人との繋がりができる日がくるよう願うばかりです。

中土佐町教育研究所 所長 古味秀夫



## 第1回教育研究所運営委員会報告

6月2日に本年度第1回教育研究所運営委員会を開催しました。地域の有識者、学校関係者、保護者代表の皆様より、ご意見をいただき、本年度の研究所の活動方針や重点的な取組内容を確認することができました。一部抜粋ですが、下記のようなご意見がありましたので報告します。

- 運営委員会委員長の選出 委員の互選で、堅田謙洋委員（久礼中学校長）に決まりました。
  - 小学校低学年から基礎基本を定着させることは大事である。是非、中土佐検定を続けて欲しい。
  - 研究員も研究では昨年度同様の成果を出して欲しい。
  - 中土佐検定テキストは学校での学習が厳しい生徒の学習には良いと思う。
  - 学校のタブレットの持ち帰りについて、中土佐町での今後の計画についての質問がありました。
  - ロイロノートというソフトが全国的に活用されている。考えを深めるのに学校で活用したい。
  - 中土佐検定では基礎基本の定着のために書くことに重点を置いた取り組みをしたい。
- たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

## 令和4年度 第1回中土佐検定の結果

### ○小学校算数

学年	1年生 (検定なし)	2年生 (15級)	3年生 (12級)	4年生 (9級)	5年生 (6級)	6年生 (3級)	町全体
受検者数		31	34	26	33	41	165
平均点		95.7	95.3	92.8	88.0	87.7	91.6
合格率(%)		100%	100%	100%	97%	98%	99%

### ○中学校英語

学年	1年生	2年生	3年生	町全体
受検者数	34	33	23	90
平均点	89.6	90.7	88.6	89.8
合格率(%)	100%	97%	87%	96%

### ○中学校数学

学年	1年生	2年生	3年生	町全体
受検者数	34	32	23	89
平均点	74.0	83.8	76.6	78.2
合格率(%)	71%	94%	78%	81%

### ○中学校漢字

学年	1年生	2年生	3年生	町全体
受検者数	34	33	22	89
平均点	89.9	89.1	86.0	88.6
合格率(%)	97%	97%	100%	98%

※平均点は本試験のものです。

## 中土佐検定の取り組み

小・中学校の第1回中土佐検定担当者会をそれぞれ開催しました。1回目の検定結果や間違いランキング、各校の取組や課題を共有し、次のことを確認しました。

- ① 第1回中土佐検定の最終合格率と再試験への取り組みについての確認。  
(検定はテキスト内容から出題し、英語と漢字の再試験、再々試験の問題は同じで並び替える)
- ② 採点基準について確認し、変更、追加された採点基準を各校に配布する。
- ③ 検定に関して研究所への問い合わせは、担当者又は管理職が行う。
- ④ 次回の中土佐検定担当者会の日程確認。

中土佐検定への取り組みや結果については、すべての教職員の皆さんで共有していただき、学校全体で中土佐検定に取り組んで欲しいと考えています。



各学校の中土佐検定に関する取り組みの中にもありますが、検定前にプレテストを行い、事前に課題を把握することと、昨年度の間違いランキングの問題は全員で挑戦しておくことも大切です。「できなかった」が「できるようになった」という変化を子どもたちに実感させるよう授業や家庭学習、個別支援等で対応し、全員に基礎的な学力が定着し、脳の活性化が図れるよう中土佐検定を活用していただきたいと思います。

### 小学校

学校名	本年度の学校や家庭での取り組み
大野見小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、帯タイム（にんむすタイム）に活用している。</li> <li>・基本的な計算問題が中心なので、基礎的な力をつけるのに役立った。</li> <li>・要点の説明があるので、復習にも活用できた。</li> <li>・本番前には、プレテストを行い、つまずきを把握することができた。</li> <li>・中土佐検定のテキストを持ち帰って自学に活用した。</li> </ul>
上ノ加江小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日5校時を「上小タイム」として、全校で中土佐検定に取り組む時間と設定し、検定テキストの問題に取り組んでいる。</li> <li>・月曜日のそうじ後の帯タイムを「ことばのきまり」の時間として、全校で取り組んでいる。</li> <li>・プレテストを家庭学習として持ち帰らせたり、授業の終わりに行ったりしている。</li> </ul>
久礼小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日のホップの時間に取り組んでいる。</li> <li>・プレテストや過去問に繰り返し取り組むようにしている。</li> <li>・プレテストを印刷して持ち帰らせている。</li> <li>・宿題として持ち帰らせることもあった。</li> </ul>

### 中学校（数学）

学校名	本年度の学校や家庭での取り組み
大野見中	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が実態を正確に把握することができるようにプレテストを活用している。そのうえで、生徒が自分たちの課題を把握し、その解消のために帯タイム・チャレンジタイムなどを活用することができた。</li> <li>プレテスト問題を活用し、問題の解き方を定着させ、家庭学習の充実につなげている。</li> </ul>
久礼中	<ul style="list-style-type: none"> <li>4週間前より取り組み開始</li> <li>学習タイムで小テストを10回実施。</li> <li>1週間前にプレテストを行い、不合格だった生徒は放課後学習室で再テストや加力学習をし、最大1時間の補習を行う。</li> <li>間違いの多い問題については、授業中に時間を取り、類似問題を解いたり、プリントで対応した。</li> <li>テキストの問題を家庭学習として自主的に取り組むように声をかけたり、計算練習として解くように声をかけた。</li> </ul>

### 中学校（英語）

学校名	本年度の学校や家庭での取り組み
大野見中	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジタイムで、自分のペースでテキストに取り組む時間を与えている。また、プレテストA・Bを両方実施している。</li> <li>帯タイムの時間に、Chrome bookを使用し、「これ単」を活用している。</li> <li>毎日ではないが、Bノート（中土佐検定専用ノート）に問題を解く課題を家庭学習として出している。</li> </ul>
久礼中	<ul style="list-style-type: none"> <li>4週間前より取り組み開始。</li> <li>1週間前プレテストA・B実施。</li> <li>80点未満の生徒は放課後学習を実施。</li> <li>検定前はテキストから抜粋した問題を取り組ませている。</li> <li>指定はしていないが久礼ノートに自主的にテスト範囲の勉強を家庭学習として行っている。</li> </ul>

### 研究所関係の予定（2学期）

月 日	会合・検定予定	備 考
9月 7日	第2回中学校中土佐検定（漢字）	検定
9月12日	第1回中土佐町小中学校研究主任会	
11月15日	第2回中学校中土佐検定（数学・英語）	検定
11月16日	第2回小学校中土佐検定（算数）	検定

中土佐検定に向けての児童生徒への学習支援の要望がありましたら研究所まで連絡下さい。

## 輝く子どもたち

本年度も「研究所だより」の中で子どもたちの授業の様子を掲載させていただきます。学校と研究所との取り組みの共通理解を図り、授業の中で子どもたちが輝いている姿を掲載したいと思います。できる限り公開授業に参加させていただきますので、よろしくお願いします。



大野見中学校2年生

☆7月13日（水）大野見中学校2年生授業改善プラン

授業者：大野 良太 教諭

理科 2年「植物の体をつくるはたらき」

授業の中で教科での重要な用語をよく使って生徒が説明し、既習事項の確認でも用語の復習が当たり前のように行われていました。実験方法について話し合う授業でしたが、授業者から適切なアドバイスがあり、うまくまとめにもっていくことができたように思います。生徒もよく考えて自分の言葉で発表ができていました。

☆7月13日（水）久礼中学校2年生授業改善プラン

授業者：藤原 桃香 講師

理科 2年「生物の体のつくりとはたらき」

顕微鏡を使って熱心に観察ができていました。観察した細胞をスケッチするのに時間を要し、相違点等をじっくり考えることができなかつたように感じました。各班で協力して、プレパラートをつくり、顕微鏡の操作はよくできていました。時間がなく相違点等の発表ができなかつたのが残念です。



久礼中学校2年生

### 新しい職員紹介

8月より新しく教育研究所支援職員として配置されました西内いちさんです。毛利由花さんは本年度いっぱい休暇に入ります。



西内いちと申します。教育委員会や研究所の職員の皆様に迷惑をかけることも多々あると思いますが、一日も早く仕事を覚えられるよう一生懸命頑張りたいと思います。中土佐町の児童生徒の基礎学力定着のため、全力でサポートしていきたいです。